



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2018. 4月号

春期特別展 四之宮前鳥神社 — その神輿と地域の信仰 —

特別展の目玉は、なんと^{おみこし}といっても御神輿です。4月14日(土)まで展示されている前鳥神社の大神輿(文久元年=1861建造)は圧倒的な存在感で観る者を魅了します。国府祭で担がれている^{しらぎ}素木の御霊神輿(昭和16年=1941建造)も同日まで展示されているので、前半はちょっぴりおトクです。4月17日(火)から会期終了までは境内社の八坂神社神輿(明治23年=1890建造)に展示替えがなされます。八坂神輿も丸柱の回転巻龍や木鼻の四つ足付き獅子像、露盤の飛熊、桝組の十二支など動物や霊獣をモチーフとした彫物に見どころの多い名神輿です。ぜひとも会期の前半と後半の二度お越しください。三基の御神輿はすべて大山の堂宮大工 手中明王太郎によって製作されました。明王太郎が四之宮の神輿を製作するにあたって作成した文書や使用した道具も展示されていますのでご注目ください。

4月15日(日)には氏子青年会の方々の協力で大神輿と八坂神輿の入れ替えがなされます。これほどの大きな神輿を2基も搬出入し、展示用に飾り付けるのはたいへんな大仕事です。当日、展示をご観覧の皆様にはご迷惑をおかけすることになりますが、見方を変えれば二つの神輿が一度に見られる、これまたおトクな日といえるかもしれません。

5月6日(日)まで
特別展示室で開催中



主催
前鳥神社
平塚市博物館

大神輿を展示して下さった前鳥神社氏子青年会の皆様 左奥は国府祭の御霊神輿

特別展関連行事 すべて参加自由

◆前鳥神社見学会

日時：4月8日(日) 13時～14時30分 集合：前鳥神社社務所前
解説：鈴木建人氏(前鳥神社権禰宜) 雨天決行

◆展示解説 会場：特別展示室

日時：4月14日(土) 13時～13時50分 解説：当館学芸員

◆相模人形芝居前鳥座公演「鎌倉三代記」 出演：前鳥座

日時：4月22日(日) 11時～11時30分 会場：博物館講堂

◆前鳥囃子と里神楽公演

日時：4月22日(日) ①13時～13時40分②15時～15時40分
会場：文化公園ステージ(雨天時は講堂)
出演：前鳥神社囃子太鼓保存会

◆対談「神輿を語る～前鳥神社神輿の構造と意匠～」

日時：4月28日(土) 13時30分～15時 会場：博物館講堂
語り手：手中正氏(手中家当主) 聞き手：鈴木建人氏
定員：先着70名

「五月節句飾り展」

2F情報コーナーにて開催中

昭和10年に初節句を迎えた方の鎧、鍾馭、神武天皇、弁慶、金太郎など、昨年度に新たに寄贈された3組の五月節句飾りを展示します。写真は昨年度の展示から。



昭和19年の節句飾り



昭和47年の節句飾り

新着資料展 ー地質・天文ー

4月5日(木)～4月30日(月) 1階 寄贈品コーナー

博物館には毎年のように新しい資料が収蔵されます。中には、市民の皆さんよりご寄贈いただいた資料も数多く含まれています。本展示では、昨年度に新たに博物館に加わった地質・天文分野の資料を紹介します。

<展示予定資料(一部)>

地質：【猪股直幸氏寄贈】菊花石(不明)

【宇野夏樹氏寄贈】水晶(丹沢山地産)

貝化石(大磯町西小磯産・相模原市大磯産)、

【天野俊一氏寄贈】安山岩 柱状節理(山梨県大月市初狩産)

天文：【伴場由美氏寄贈】2017年北米皆既日食記念切手

【天体観察会会員寄贈】天体写真

【収集】特殊切手「天体シリーズ 第1集」、大宮八幡宮乞巧守



宇野夏樹氏より寄贈いただいた大磯町西小磯産の貝化石。西小磯でこれほど状態の良いものは大変珍しく、貴重な標本です。

国際博物館の日・地質の日記念

博物館こどもフェスタ 2018

毎年恒例の博物館こどもフェスタ。今年は5月6日(日)に開催します。終日親子で楽しめるイベントを盛りだくさんに用意しております。皆さまのご来館をお待ちしています。



古代生活体験「火起こし」



水ロケットを打ち上げよう

<開催予定イベント>

サメの歯化石のレプリカを作ろう

むかし子ども遊び

水ロケットを打ち上げよう

郷土かるた大会

古代生活体験「火起こし」

プラネタリウムこどもフェスタスペシャル

ぶたいうらたんけんツアー など



プラネタリウム一般投影 春の番組

宇宙から見た地球

人類は未知なるフロンティアを求めて、遠い星々を探索してきました。探査機から送り届けられる、誰も想像さえしなかった驚天動地の画像は、宇宙の多様さや豊かさを教えてくれました。しかし、もっと人々を驚かせたのは、しじまの宇宙に浮かぶ、美しい地球の姿でした。

太陽系の様々な場所から見た、地球の姿をお送りします。

【投影日】4月7日(土)～6月3日(日)までの

土・日曜日

【時間】午前11時(5月12日以降の土曜日を除く)、

午後2時(開場は10分前/途中入場不可)

【観覧料】200円(18歳未満・65歳以上無料)

【定員】70人 【投影時間】約50分



アポロ8号から見た地球の様子 (NASA 提供)

プラネタリウム 新!特別投影

星空散歩



プラネタリウムでもっと星をゆっくり見たい、もっと星や星座の話をじっくり聞きたい、旬の天文現象の見方を教えてほしい、という声にお応えして、今年度からプラネタリウムの“新”特別投影「星空散歩」が始まります。毎月一回、50分間すべて生解説で、季節の星空や見える星座、見やすい天文現象をご紹介します。ご期待ください!

- 観覧料 : 200円(18歳未満65歳以上は無料)
当日午前9時より受付で観覧券を販売します
- 開始時刻 : 午後3時30分(開場は10分前/途中入場不可)
- 投影時間 : 50分間



<スケジュール>

2018年4月7日(土) / 5月5日(土) / 6月2日(土) 7月8日(日) / 9月2日(日)

10月6日(土) / 11月3日(土・祝) / 12月1日(土)

2019年1月5日(土) / 2月2日(土) / 3月2日(土)



1 日	天体観察会	科学教室	☆	情 端 午 の 節 句 飾 り 展 寄 新 着 資 料 展「地質・天文」 特 四 之 宮 前 鳥 神 社 — そ の 神 輿 と 地 域 の 信 仰 — ブ 宇 宙 か ら 見 た 地 球
2 月	休館			
3 火				
4 水	※番組入替のためこの日のプラネタリウム投影はありません			
5 木	展示解説ボランティアの会	講堂		
6 金	古文書講読会	講堂		
	聞き書きの会	特別研究室		
7 土	◎ 特別投影「星空散歩」	プラネタリウム	☆	
8 日	◎ 前鳥神社見学会	野外(四之宮)	☆	
	◎ 館長の星空解説	プラネタリウム		
	天体観察会流星分科会	科学教室		
9 月	休館			
10 火				
11 水				
12 木				
13 金	古文書講読会	講堂		
	お囃子研究会	講堂		
14 土	◎ 特別展示解説	特別展示室	☆	
15 日	平塚の古代を学ぶ会	科学教室	☆	
	天体観察会天文学分科会	特別研究室		
16 月	休館			
17 火				
18 水	裏打ちの会	科学教室		
	民俗探訪会	講堂		
19 木	古代生活実験室	科学教室		
	展示解説ボランティアの会	講堂		
20 金	古文書講読会	講堂		
	地域史研究ゼミ	特別研究室		
21 土	東国史跡踏査団	野外/講堂	☆	
	平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室		
22 日	◎ 相模人形芝居前鳥座公演	講堂	☆	
	◎ 前鳥囃子と里神楽公演	文化公園		
	地球科学野外ゼミ	科学教室		
	太陽分科会初心者コース	特別研究室		
	天体観察会定例会	講堂		
23 月	休館			
24 火	天体観察会 太陽分科会	特別研究室		
25 水				
26 木	石仏を調べる会	講堂		
	古文書講読会	講堂		
27 金	聞き書きの会	特別研究室		
	◎ 星を見る会「月と春の星を見よう」	科学教室/屋上		
28 土	お囃子研究会	講堂	☆	
	◎ 「神輿を語る ～前鳥神社神輿の構造と意匠～」	講堂		
29 日			☆	
30 月	振替休日開館			

1 火				情 端 午 の 節 句 飾 り 展 寄 新 着 資 料 展「民俗・歴史」 特 四 之 宮 前 鳥 神 社 ブ 宇 宙 か ら 見 た 地 球
2 水				
3 木	祝日開館			
	展示解説ボランティアの会	講堂		
4 金	祝日開館			
	祝日開館			
5 土	◎ 特別投影「星空散歩」	プラネタリウム	☆	
6 日	◎ こどもフェスタ	全館	☆	
7 月	休館			
8 火				
9 水				
10 木	平塚石仏の会	特別研究室		
	古代生活実験室	科学教室		
11 金	古文書講読会	講堂		
	お囃子研究会	講堂		
12 土	地球科学野外ゼミ	科学教室	☆	
	天体観察会流星分科会	科学教室		
13 日	平塚の古代を学ぶ会	科学教室	☆	
	◎ 最新天文学講座	講堂		
14 月	休館			
15 火				
16 水	裏打ちの会	科学教室		
17 木	民俗探訪会	講堂		
	展示解説ボランティアの会	講堂		
18 金	古文書講読会	講堂		
	地域史研究ゼミ	特別研究室		
19 土	平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室	☆	
	東国史跡踏査団	講堂(雨天時)		
	◎ 特別投影「星空音楽館」	プラネタリウム		
20 日	太陽分科会 初心者コース	特別研究室	☆	
	天体観察会定例会	講堂		
21 月	休館			
22 火				
23 水				
24 木	石仏を調べる会	講堂		
	古文書講読会	講堂		
25 金	聞き書きの会	特別研究室		
	◎ 星を見る会	科学教室/屋上		
26 土	お囃子研究会	講堂	☆	
27 日	天体観察会 天文学分科会	特別研究室	☆	
28 月	休館			
29 火	天体観察会 太陽分科会	特別研究室		
30 水				
31 木	月末休館			

☆: プラネタリウム投影日 ◎: 申込制行事 ○: 参加自由 無印: 年間会員制
 プ: プラネタリウム一般投影 特: 特別展 寄: 寄贈品コーナー展示 情: 情報コーナー展示

4月の休館日: 2日、9日、16日、23日

【4月のプラネタリウム】

- 定員: 70人 観覧料: 200円 (18歳未満・65歳以上無料)
- 観覧券をお求めのうえ、投影開始10分前までに3階にお越しください。
- 全席自由席です。 ○投影開始後のご入場・途中退出はできません。
- ☆プラネタリウム一般向け番組「宇宙から見た地球」3頁参照
- ☆プラネタリウム特別投影「星空散歩」3頁参照
- ☆館長のプラネタリウム投影「春だ! 京都へ行こう・2018」
 内 容: 春の星座解説と星と関連がある社寺紹介 (3月25日と同じ内容)
 日 時: 4月8日 (日) 午後3時30分~午後4時30分
 解 説: 澤村泰彦 (平塚市博物館長)

【4月の展示】

- 特別展示 (会場: 博物館1階 特別展示室)
 ◎春期特別展「四之宮前鳥神社—その神輿と地域の信仰—」1頁参照
- 寄贈品コーナー展示 (会場: 博物館1階 寄贈品コーナー)
 ◎「新着資料展—地質・天文—」2頁参照
- 情報コーナー展示 (会場: 博物館2階 情報コーナー)
 ◎「端午の節句飾り展」会期: 5月13日 (日) まで

【4月の自由参加行事】

- ◎星を見る会「月と春の星を見よう」
 内容: 満月3日目の月と旬の春の星を望遠鏡で観察します。
 日時: 4月27日 (金) 午後7時~午後8時30分
 会場: 科学教室・屋上

あなたと博物館 46巻1号 通算496号 発行 平塚市博物館 2000

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949 ホームページ <http://www.hirahaku.jp/>